

極性分子の水表面での配向分極を利用した次世代型 OFET 用中間膜の開発



藤野 智子
東京大学・助教

有機エレクトロニクスデバイスのための $d-\pi$ 共役系金属錯体を研究しています。本研究では、「両親媒性」と「極性」を両立する金属錯体を設計・合成し、その水表面での配向分極を金属基板上に転写する新戦略により、エレクトロニクスデバイス内の電極-有機半導体の界面分極を誘起する中間層材料の実現を目指します。

これによりデバイスの高伝導化・高機能化が期待できるだけでなく、未だに明らかになっていない中間層による界面分極機構や伝導促進機構の解明も可能となると考えられます。

